

競技・審判上の注意

[全般的事項]

1. 本大会は、令和6年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程及び公認審判員規程によりおこないます。
2. 競技の服装は、大会運営規程第23条・24条の規程によります。ユニフォームの背面には、必ず上段に学校名下段に府県名を読み取りやすい日本文字で明記してください。文字の色は上衣に鮮明に映えるものとします。ゼッケンを使用する場合は、白の布地で縦20cm・横30cmの大きさを基準とし、文字の色は黒色または濃紺色とし、必ず四隅を止めておくこと。
3. 選手は必ず来場時に「受付」を済ませてください。
4. マッチ(試合)のアナウンスがあれば速やかにコートに入ってください。
5. 整列時は、対戦相手と審判に握手をして挨拶した後、トスを行って下さい。その後、3分間の練習を行います。
6. マッチの進行状況に応じて、予定されたマッチの開始時刻やコートを変更することがあります。コールには十分注意をしてください。
7. マッチが連続する場合は下記のように時間を空けて次のマッチを行います。
＜学校対抗＞ 学校対抗が連続する時は、20分とします。(団体戦内のマッチが連続する場合は10分)
＜個人対抗＞ 個人対抗(単・複)が連続する時は、15分とします。
8. 監督・コーチ席は、各コート後方に2席設けてあります。選手のチェンジエンスに合わせて場所を移動してください。また、監督・コーチ・外部コーチは承認された者(IDカードを交付された者)のみ認めます。
※男子(女子)選手の監督・コーチは、同じ学校の女子(男子)選手のコーチをすることができます。選手については、性別に関係なく、同じ学校の選手のコーチをすることができます。いずれの場合も、別途申請の必要はありません。
9. マッチ中のインターバルは、競技規則第16条第2項の規程によります。インターバル中のコート周辺でのアドバイスは2名以内です。また、監督・コーチは、「20秒」のコールがなされたら速やかにコートから離れてください。
10. フロアー内での通信機器(iPad,携帯電話など)の使用・持ち込みを禁止します。
11. 次のような行為は警告対象です。
 - (1)サービス時、サーバーやレシーバーが意図的に長い間を取ること。
 - (2)シャトルの羽を折ったり、広げたりする行為。
 - (3)インプレー中にコーチなどからのアドバイスを受けること。
 - (4)汗ふき、靴のひもの締め直しなどで、故意にプレーを中断すること。
12. 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められません。判定に対し疑問がある場合には、次のサービスがなされる前に「質問」をすることができます。ここで質問ができる者とは、団体戦においては当該選手と監督、個人戦においては当該選手に限ります。(監督は「IDカード」を必ずつけてください)
13. 競技中の汗ふきや水分補給は、必ず主審の許可を得てください。ただし、瞬時の汗拭きについては、その限りではありません。コートサイドにはカゴやドリンクケースは設置しませんので、バッグ等を主審側コートサイドに置き、汗ふき用のタオル・予備のラケット・水分補給用の容器は各自のバッグに収納してください。容器は、スクイズボトル・ペットボトルなど、倒れてもこぼれないもの(蓋付き)としてください。缶・紙パック類は禁止します。
14. 競技フロアーへのクーラーボックスの持ち込みは認めません。氷嚢の持ち込みは認めますが、保冷バッグを用いてコーチ席にて保管し、使用はインターバル時のみとしてください。

15. 審判について

- (1)主審・線審・得点表示係は、すべて主管者で行います。
- (2)会場ルールは特に設けません。

16. その他

- (1)シャトルを交換する場合は、必ず主審の許可を得てください。
- (2)その他大会運営上の注意事項については、大会本部の指示に従ってください。

[学校対抗に関する事項]

1. 団体戦は、2複3単で行います。複・複・単・単・単(第1単は複及びその他の単を、また、複と複は兼ねられない)の順に行い、勝敗決定後は打ち切りとします。
2. 団体戦は、全マッチ2コート並行して行います。マッチの進行状況により、開始時刻やコートの変更、もしくは3コート並行して試合を行うことがあります。その際、同一選手が連続してマッチをする場合のインターバルは10分以上とします。
3. 監督、コーチ、マネージャー、選手の変更は、公式練習開始までに受付時に提出し、それをもって最終のものとし、以後の変更は一切認められません。なお、変更は受け付けますが、追加は認められません。
4. 各チームの初戦のオーダー用紙は、受付で配布します。次の試合のオーダー用紙は、主審から受け取って下さい。オーダー用紙はオーダー提出用封筒に入れて、放送等で指示があった時間にオーダー交換所に遅れないよう提出してください。オーダー用紙の交換は、オーダー交換所で両校の監督が揃って同時に行います。
5. 定時(指示のあった時刻)までにオーダー用紙の提出が無いときには「棄権」とします。
6. ベンチに入ることができるのは、エントリーされた者(コーチ・マネージャーを含む)のみとします。
7. 組み合わせ番号の先番チームは主審に向かって右側のベンチに、後番のチームは左側のベンチに入ってください。
8. 団体戦開始においても、各マッチの前に3分間のウォームアップを認めます。ダブルスはパートナーと、シングルスは対戦相手と行って下さい。(単の場合におけるウォームアップに必要なシャトルは、主審が用意します。)
9. コートサイドにコーチ席を2席設けます。(IDカードを配布された者で各校2名以内を着席可とする。)

[個人対抗に関する事項]

1. 選手の変更はいかなる場合でも認められません。
2. 組み合わせ番号の先番選手を、各コート主審に向かって右側ベンチ(サイド)とします。
3. マッチ開始前のウォームアップは、あいさつの後、主審の指示に従って、3分間のウォームアップを認めます。(単の場合は対戦相手とのウォームアップを行います。シャトルは主審が用意します。)
4. コートサイドにコーチ席を2席設けます。(登録された監督・コーチ以外は所定の届けが必要)

一般上の注意

1. 各競技日程とも、開場は午前9時00分です。
2. 監督・コーチは会場到着後、必ず「受付」を済ませてから入場してください。
3. 下履きと上履きの区別をつけてください。下履きは靴袋に入れて持ち歩くようにしてください。
4. 競技フロア内での飲食を禁じます。
5. 場施設内の電源(コンセント)の使用は禁止します。
6. 応援については、プレーの妨げだけではなく、放送が聞こえず運営に支障が出ること、周囲の観客への迷惑といった理由により、着席のうえ拍手、手拍子、声援、掛け声のみとし、歌および楽器や音を発する道具の使用を禁止したうえで、次の通り制限を設けます。ゲーム中はインプレー終了から、サーバーかレシーバーが次のプレーのため構えをとるまでの間、マッチ前とインターバル中は10秒程度の長さで一度まで、中断時は禁止とします。監督が責任を持って事前に指導してください。なお守られない場合は、レフェリーより監督へ改善を求めることがあります。
7. 体育館内外ともに、競技フロア以外ではラケットやシャトルを使った一切の練習を禁止します。
8. ゴミは各自の責任で持ち帰ってください。
9. 競技中の疾病・傷害について応急処置のみ主催者で行いますが、その後は各自で処置をしてください。
10. 防犯上、貴重品はじめ私物の管理は、各自(各チーム)で責任を持って行ってください。
11. IDカードは大切に保管し、大会終了後はお持ち帰りください。

組み合わせ抽選について

1. 団体戦・個人戦の組み合わせは11月23日(土)に行われました、組み合わせ抽選会議において決定しました。

開会式・閉会式・表彰式について

1. 開会式は簡易的に行います。優勝杯返還を12月13日(金)10時10分からフロアにて行います。前年度団体優勝杯返還者は、本部の指示に従ってフロアに整列してください。
2. 個人戦の表彰式については、各日の試合終了後に行います。
3. 閉会式についても簡易的に行います。試合終了後、準備ができ次第、団体戦の表彰式と合わせて行います。

試合後の割当練習について

1. 初日と2日目の試合終了後、試合会場を2時間、大会参加校の練習に開放します。
2. コートの割り当てについては競技日程表で確認してください。